



平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月3日

上場会社名 東都水産株式会社

上場取引所 東

コード番号 8038 URL <http://www.tohsui.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 関本 吉成

問合せ先責任者 (役職名) 取締役総務部門担当 (氏名) 江原 恒

TEL 03-3541-5468

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	27,524	0.1	188	14.8	252	5.8	187	24.0
29年3月期第1四半期	27,505	6.8	221	34.4	268	22.9	246	103.3

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 82百万円 (64.1%) 29年3月期第1四半期 230百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	47.18	
29年3月期第1四半期	62.05	

平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しています。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第1四半期	26,189	14,321	54.7	3,600.53
29年3月期	26,150	14,480	55.4	3,640.44

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 14,321百万円 29年3月期 14,480百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期				60.00	60.00
30年3月期					
30年3月期(予想)				60.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	115,000	3.5	1,200	10.8	1,300	14.3	1,000	19.8	251.41

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	4,026,000 株	29年3月期	4,026,000 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	48,467 株	29年3月期	48,405 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	3,977,576 株	29年3月期1Q	3,978,427 株

(注)平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しています。これに伴い、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期中平均株式数を算定しています。

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(セグメント情報等)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、所得・雇用環境の改善や堅調な輸出に支えられ、緩やかな回復基調が続いたものの、海外においては米国トランプ政権の行方、英国EU離脱問題、北朝鮮による地政学的リスクの増大等の不安要素により景気の先行きは依然不透明な状況が続いております。

水産物卸売市場業界におきましては、消費者の節約志向が継続するなかで、魚価については海外での需要増加により高止まりし、水産資源の減少、魚の回遊水域の変化による漁獲量減少、市場外流通との競合等により取扱数量については減少が続くという厳しい事業環境で推移しました。東京都中央卸売市場築地市場の豊洲市場への移転につきましては、明確な開場日が決まらない上に安心・安全が問題視される事態となり、豊洲市場へ移転予定の当社にとりましては早期解決を望むところであります。

このような状況のなかで当社グループは、消費者の皆様の豊かで魅力的な食生活の創出を第一義に考えた商品を提供できますよう集荷・販売に注力し、経営基盤の強化を図ってまいりました。

当第1四半期連結累計期間の売上高は、主力の水産物卸売事業及び不動産賃貸事業におきましては、前年を僅かに下回りましたが、冷蔵倉庫及びその関連事業において上回りましたため、前年同期と比べ0.1%増加の27,524百万円となりました。利益面では、貸倒引当金繰入額の減少や人件費の削減を行いました。営業利益は前年同期と比べ14.8%減少の188百万円、経常利益は前年同期と比べ5.8%減少の252百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は前年同期と比べ24.0%減少の187百万円となりました。

セグメントの業績概況は次の通りであります。

①水産物卸売事業

水産物卸売事業につきましては、魚価が強含みで推移し、売上単価は前年同期と比べ6.4%上昇しましたが、取扱数量が6.7%減少したため、売上高は前年同期と比べ0.7%減少の25,695百万円となりました。利益面では貸倒引当金繰入額の減少、売上原価や人件費の削減を行いました。売上高の減少分を補うには至らず、営業利益は前年同期と比べ9.9%減少の56百万円となりました。

②冷蔵倉庫及びその関連事業

冷蔵倉庫及びその関連事業につきましては、在外子会社のAERO TRADING社(カナダバンクーバー市)の売上高が好調を維持し、前年同期と比べ14.2%増加の1,670百万円となりました。利益面では人件費の増加はありましたが売上総利益が増加したため、営業利益は前年同期と比べ8.5%増加の80百万円となりました。

③不動産賃貸事業

不動産賃貸事業につきましては、賃料の低下傾向に歯止めがかかり、売上高は前年同期と比べ0.4%減少の158百万円となりました。利益面では人件費等を削減しましたが売上原価が増加したため、営業利益は前年同期と比べ19.4%減少の56百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末と比べ39百万円増加し、26,189百万円となりました。流動資産は176百万円減少し、15,405百万円となりました。主な要因は、商品及び製品が600百万円増加したものの、現金及び預金が570百万円、受取手形及び売掛金が202百万円減少したことによるものです。固定資産は215百万円増加し、10,783百万円となりました。主な要因は、無形固定資産に含まれております漁業権が164百万円増加したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における負債は、前連結会計年度末と比べ198百万円増加し、11,868百万円となりました。流動負債は461百万円増加し、6,976百万円となりました。主な要因は、支払手形及び買掛金が397百万円増加したことによるものです。固定負債は262百万円減少し、4,891百万円となりました。主な要因は、長期借入金が224百万円減少したことによるものです。

当第1四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末と比べ158百万円減少し、14,321百万円となりました。主な要因は、円高傾向により為替換算調整勘定が135百万円減少したことによるものです。この結果、自己資本比率は、前連結会計年度末の55.4%から54.7%となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成30年3月期の連結業績予想につきましては、平成29年5月9日に発表しました数値から変更ありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	6,800	6,230
受取手形及び売掛金	6,562	6,360
商品及び製品	2,371	2,971
仕掛品	18	32
原材料及び貯蔵品	262	138
その他	336	401
貸倒引当金	△769	△729
流動資産合計	15,582	15,405
固定資産		
有形固定資産		
土地	3,548	3,545
その他(純額)	3,307	3,340
有形固定資産合計	6,856	6,885
無形固定資産		
投資その他の資産	1,220	1,385
投資その他の資産		
その他	2,850	2,863
貸倒引当金	△359	△351
投資その他の資産合計	2,490	2,512
固定資産合計	10,568	10,783
資産合計	26,150	26,189
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	2,592	2,990
短期借入金	2,894	2,883
未払法人税等	129	57
賞与引当金	79	164
その他	818	881
流動負債合計	6,515	6,976
固定負債		
長期借入金	1,715	1,491
退職給付に係る負債	1,687	1,652
株式給付引当金	15	15
資産除去債務	46	46
その他	1,688	1,685
固定負債合計	5,154	4,891
負債合計	11,669	11,868

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,376	2,376
資本剰余金	1,048	1,048
利益剰余金	10,653	10,599
自己株式	△96	△96
株主資本合計	13,981	13,927
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	553	571
繰延ヘッジ損益	0	—
土地再評価差額金	360	360
為替換算調整勘定	△337	△473
退職給付に係る調整累計額	△78	△64
その他の包括利益累計額合計	498	393
純資産合計	14,480	14,321
負債純資産合計	26,150	26,189

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	27,505	27,524
売上原価	25,916	25,984
売上総利益	1,589	1,540
販売費及び一般管理費	1,368	1,351
営業利益	221	188
営業外収益		
受取利息	14	12
受取配当金	30	39
為替差益	—	15
通貨スワップ評価益	9	—
その他	10	10
営業外収益合計	65	79
営業外費用		
支払利息	8	6
通貨スワップ評価損	—	4
固定資産除却損	5	3
為替差損	4	—
その他	0	0
営業外費用合計	18	14
経常利益	268	252
税金等調整前四半期純利益	268	252
法人税、住民税及び事業税	35	66
法人税等調整額	△13	△1
法人税等合計	21	65
四半期純利益	246	187
親会社株主に帰属する四半期純利益	246	187

(四半期連結包括利益計算書)
 (第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年6月30日)
四半期純利益	246	187
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	0	17
繰延ヘッジ損益	0	△0
為替換算調整勘定	△22	△135
退職給付に係る調整額	4	13
その他の包括利益合計	△16	△105
四半期包括利益	230	82
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	230	82
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

- I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,883	1,463	159	27,505	—	27,505
セグメント間の内部売上高 又は振替高	56	330	28	415	(415)	—
計	25,939	1,793	187	27,920	(415)	27,505
セグメント利益	62	73	69	206	15	221

(注)1. セグメント利益の調整額15百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

- II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注)1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)2
	水産物卸 売事業	冷蔵倉庫 及びその 関連事業	不動産賃 貸事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	25,695	1,670	158	27,524	—	27,524
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	347	28	430	(430)	—
計	25,750	2,018	186	27,954	(430)	27,524
セグメント利益	56	80	56	192	(4)	188

(注)1. セグメント利益の調整額△4百万円は、セグメント間取引に係るたな卸資産の調整額等でありま
す。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。